

いぶき 20号 平成24年9月

世界の偉人たち「驚きの日本発見記」

第19回：ククリット・プラモート（1911～1995年）

「日本のお陰でアジアの諸国はすべて独立した。日本というお母さんは難産して母体をそこなったが生まれた子供はすくすくと育っている。今日、東南アジア諸国民がアメリカやイギリスと対等に話ができるのは一体誰のお陰であるのか。それは『身を殺して仁をなした』日本というお母さんがあった為である。12月8日は我々に、この重大な思想を示してくれたお母さんが一身を賭して重大決意された日である。更に8月15日は我々の大切なお母さんが病の床に伏した日である。我々はこの2つの日を忘れてはならない。」（出典：

『<http://ilovenippon.jugem.jp>』から引用）

1911年（明治44年）にタイ王国の名門の家に生まれ、英国オックスフォード大学に留学して、哲学、政治、経済を学んだプラモートは、帰国後の1950年にタイ語日刊新聞「サヤーム・ラット」紙を刊行して主幹を務め、1975年にはタイ王国首相に就任した人です。上記の文章は1955年（昭和30年）に「サヤーム・ラット」紙に発の方針、二部明治維新と教育勅語です。特にこの5年間の部会の歩みや方針、富士松会長の功績を分かり易く伝えて頂きました。淞南学園を預かる上で毎朝幹部への報告や指導を頂く事、霊的ライン崩さない事の重要性を力説、その徹底ぶりに大変感動しました。霊的ネットワークの確立、報連相の徹底と波調合わせ等、明るいオーラと指導者の器は我々の手本です。第2部では、明治維新に変わる世界維新の霊的意味や教育勅語の時代背景を事細かに解説されました。日本古来の精神や伝統、12の徳目、教育の根本は先祖-先人から道徳教育をしっかり受け継ぐ事。神代からの連綿と続く尊い国柄を守り、スメラミコト様への畏敬の念、皇位継承の重要性をしっかり認識する事。歴史と先人からの徳目を一致させ、幼少期から伝えて行く教育システムの構築を急ぐ。徳目+神の教え(み光)を十字に組んだ「神の内容が入った法律を作れないか」等、神主・霊主教育を早く進展・実現して行きましようかと力説されました。

次は模擬授業・体験ホームルームです。大分の中島先生、コミュニケーション能力…中学校編。今の生徒は何の為勉強するのか、目的が無い。生徒の能力を引き出すコツは「聞く理」で、入学最初が肝心で、生徒の手記を読み返しながらの生きたレポートでした。授業も生徒を中心に置くと上手く運べ、一人は皆の為、皆は一人の為と云う利他愛で祈り接すると、手のつけられない問題児が180°変化した事例、学力向上はガンガン詰め込むのではなく自分達で考えさせる事。言いたい放題の説得でなく相手を理解する事、コミュニケーションノートの活用で、相手を責めるのではなく良い所見つけて引き出す事、将にその通りだと思えます。詳細は「いぶき」No.18参照、他「いぶき」にて沢山書かれています。残念ながら、いざ本論に突入と云う所で時間切れ。中島先生は1時間と云う地球時間では収まらない様で、参加者一同大爆笑。真面目な話題で笑いを取れる先生の器の大きさに一目置きます。初研の最中、十分な準備も進まない状況や所長の立場等、大変な想いで許された

と察します。先生は夜日帰りで、遠路大分まで初研の為に帰られました。私が帰沖の際先生より連絡あって、「模擬授業どうだった？」と。私は先生らしさが出ていて良かったです、途中で終わったのは次回の楽しみに取っておきます(笑)。先生のプレゼンテーションは引き出しが多く、時間を沢山取って聞きたいと思いました！

次は藤岡先生の対話型模擬授業です。「ローマの休日」と云う題材を皆が黙読。登場人物や内容の事例を皆さんからドンドン挙げさせます。それを更にまとめ、皆の多様な考えや意見、アイデアを引き出します。テレビのハーバード大学の公開授業さながらの雰囲気、司会者を囲み距離も近く、キャッチボールをします。参加者60名程の内半数が何かの回答や意見します。将に皆が主役で対話-参加型、皆で盛り上がります。司会者（講師）は、如何にしゃべらない、沈黙に我慢するか…だそうです。間違えても気にならない雰囲気、アッと云う間に終了。勉強会や神向き会に活用出来そうです。中島先生、藤岡先生共々特徴あって、とても楽しめました。

1日目終了、有難くも藤岡先生の車に便乗、教育部会北村副会長と会話でき、同行の桑江さんも会いたかった北村副会長と会話許されラッキーとタイムリーな研鑽会でした。宿に戻り以前お世話に成りました森前方面リーダーと交流許されまた今回会いたかった北九州の山本先生に偶然にも同席、貴重な話しと楽しい交流を許されました。今回は会いたい方々にタイムリーに会える不思議な体験をさせて頂きました。1日目終了のお許し有難う御座いました。2日目は次回の機会にに掲載させて頂きたいと思います。